**Iサムエル21:10-15　徹底的自己否定（伝道者が危機に会うとき）**

**福音以前をすべて否定しよう**

**自己否定**

神様は以前のことを

　すべて否定することを

　願っておられる。

そのために危機にあわせられ

　以前のすべてを

完全に否定させられる。

１．誇りは違うこと

　1)ガラテヤ2:20

　　以前の私は十字架で死

　2)ピリピ3:8

　以前の情報、誇り、目標は

ちりあくたと告白させるために危機に会わせられる

　3)Iコリント4:7

　　誇りはキリストひとり

宝のキリストがおられる

　4)ピリピ3:8-14

　　私の目標は上の報い

　　すでに幸せな者ゆえ

　　　幸せは目標ではない

　　成功ではなく、

神の国が目標

　5)マタイ6:33

　　神の国と義を求める

ほこりはキリスト、宝はキリスト、みことばを握って

考えて、告白しよう

２．違う力をもって生きる

　1)Iコリント3:16

　　神の聖霊が内住

　2)使徒1:8

　　聖霊の力が現れるように

　　なっている

　世の人とちがう力で生きる

　3)使徒1:14

　　熱心ではなく祈りに専念

最善を尽くすのではなく

　神様の導きに従って

最善を尽くす

すべてのことには**偶然はなく**

**絶対的神様の計画がある**

　苦難を通して計画を成し遂げ

　られる。

サタンの策略があっても気にせず

　私の道を歩もう。

それでもサタンの攻撃はある。

苦難もあるが、避けず、

受け入れよう。

危機に会うこともあるが、

　絶対的な計画がある。

絶対的神様の計画の背景は、

契約をなされるべき人だということ。

**人の見る目、私の水準で**

**見ないようにしよう**。

私は契約の人なので、神様の

　絶対的計画があると見よう。

ダビデはペリシテに逃げた。

死を恐れたのではなく、

　契約の奥義を知っていたので、

　導かれようとした。

気ちがいのふりをしたのは

　生きようとしたのではなく

　自尊心をすべて崩したこと。

　これが神様の計画

危機は、伝道者が

徹底的に自己否定をする

時刻表。

神様は危機を通して伝道者に

自己否定を願われている。

福音以外のすべてのことを

　徹底的に否定しよう。

福音以前の情報は、

　徹底的に否定しよう。

**以前の誇ること**

1．外見によって

　1)位置、地位

　2)能力、才能

　3)業績

これらのために、子どもに

　勉強させ、これらを

　誇りにする。

２．各自重要なものがある

　1)絶対譲れない主張

　自分にとって重要だから

　戦いにもなる

　2)失ってはいけないもの

　　家族、健康、地位、

　　財産、タイトル

　3)支えになること

　　これがないと人生が

揺れてしまう

これらをなくすことが

　死ぬよりつらく思う

誇ったり、重要に思うことがあるので、隠したいものが

　出てくる

３．隠したいもの

　1)傷

　2)ミス

　3)失敗

　4)苦難

**福音以前に入力された情報**

１．幸せと不幸はなにか

　1)条件

　2)環境　　によると

　3)状況

　自然に入力されている情報

２．善悪を区別する情報

　1)ルールを守ることが善

　　（規則、規律）

　2)道徳、良心に外れないことが善

　3)名分によって善悪区別

　　（国のため、天皇のため･･･）

３．成功と失敗がなにか

　1)表の姿でうまくいくことが成功

高い地位、金持ち、豊かなこと

が成功。そうでないと失敗

　2)各自の願いの成就が成功

　3)貢献することが成功

これらは、福音以前に入力されて

いる情報。

神様は、このような情報を

　「徹底的に否定」することを

　願っておられる。

これらが幸せ、善、成功ではないと

　言うべき

３．違う情報で

生きる

ヨハネ15:7

いままでのまちがった情報をすべて出して、別の情報を入れるべき。

みことばを

　新しく入力

いままでの情報は

　否定する

ちがう情報がある

　　│

　みことば

そのようにするために、危機をゆるされる

自尊心、プライドの

　無駄な戦いから

　自由になろう

目標は天国と神の国

　修正しよう

ダビデを

契約のために

　一番底に

　落とされた。

　完全な自己否定の

　座に置かれた

危機は、契約ゆえ、

キリストだけを誇り

伝道だけを目標とし

聖霊の力で生きる

伝道者として立てられる時間であると

覚えよう

**以前の目標**

１．幸せが目標

　信者はすでに幸せゆえ

　幸せを目標にするのでは

ない

　1)神様を離れた人の目標

　2)不幸な人が持ちたいこと

　3)肉的な信者の目標

それゆえ、信者が持つ目標

　ではない。

２．成功することが目標

　1)食べて生きること

　人間は、生きることが目標

　ではなく、目標があるので

　生きるべき

　2)肉中心

　3)人中心

　　神様関係なく

　4)この世中心

　　永遠の国があること

　　無視している

このような人が持つ目標は

　　成功で、そのために

　　努力する

３．目標に向かって努力する

　1)誠実

　2)熱心

　3)最善を尽くす

これらを否定することを

　神様は願っておられる。

ダビデはゴリヤテを打って

　英雄になって、

　錯覚してはならないから

　プライドを置いてしまう

　ことを願っておられる。